

1. 追加内容

項目			頁	新（下線部を修正・追記）	旧
第4章 施策体系	施策 1.1.3 バス利用環境の整備	① バス路線網の充実	72	<p>地域交通の利便性向上を図るため、バス事業者と連携し、新規路線の導入・既存路線の活用について検討を進めます。</p> <p>バス路線の導入にあたっては、環境負荷に配慮した車両の導入を促進します。</p> <p><u>また、バス利用環境（バス停留所や道路など）の安全性を確保するため、バス事業者や交通管理者などと連携して、必要な環境改善に取り組みます。</u></p> <p>【※行動計画はP105に追記】</p>	<p>地域交通の利便性向上を図るため、バス事業者と連携し、新規路線の導入・既存路線の活用について検討を進めます。</p> <p>バス路線の導入にあたっては、環境負荷に配慮した車両の導入を促進します。</p>
	施策 1.2.3 人々の外出と交流を促進する交通環境の充実	③ コミュニティサイクル・レンタサイクルの活用・充実	81	<p>レンタサイクルに比べ利便性の高いコミュニティサイクルシステムである「がやリン」の普及を推進するとともに、<u>民間のシェアサイクルと連携し、区民の移動利便性の向上効果や「がやリン」との相互補完の可能性について、実証実験を行い検証します。</u></p> <p>【※行動計画はP117に追記】</p>	<p>レンタサイクルに比べ利便性の高いコミュニティサイクルシステムである「がやリン」の普及を推進するとともに、民間のシェアサイクルとの連携について検討します。</p>

施策 1.2.4 公共交通が 不便な地域 における移 動環境の改 善	① 地域の实情 に合った交 通手段の検 討・導入	8 2	<p>今後は、<u>モデル地区での検証に加え、他分野の取り組みや民間等との連携も視野に入れつつ、様々な交通手段を用いた取り組みなどの検討も行います。</u></p> <p><u>その上で、人口特性や地理条件等の視点から精査した重点検討地域での区民主体による移動手段の検討など、区内の公共交通が不便な地域における移動環境の改善を進めていきます。</u></p>	<p>今後は、人口特性や地理条件などの視点から、重点的に検討すべきエリアを精査したうえで、区内の公共交通不便地域の対策に取り組んでいきます。</p>
	② 新たな交通 サービスの 活用の検討	8 3	<p>自動運転車、パーソナルモビリティ、超小型モビリティなど、将来の交通サービスについて、技術開発、社会的な受容性、法令などの状況を踏まえ、活用や支援について検討します。</p> <p><u>また、様々な移動手法・サービスを組み合わせて1つの移動サービスとして捉える MaaS についても、技術開発など社会動向を注視するとともに、民間企業などとの連携も視野に入れつつ、必要に応じてその活用や支援について検討します。</u></p>	<p>自動運転車、パーソナルモビリティ、超小型モビリティなど、将来の交通サービスについて、技術開発、社会的な受容性、法令などの状況を踏まえ、活用や支援について検討します。</p>

2. その他の修正内容

- ・素案作成後に公表された各種データを更新
- ・書体をUDフォントに変更